

黄 才榮

日本社会事業大学大学院 博士後期課程

在日コリアン高齢者の在宅介護におけるニーズの特徴と影響因子に関する検討  
—韓国における韓国の高齢者と日本における日本の高齢者との比較検討を通して—

本研究では、韓国における韓国高齢者（以下、在韓高齢者）と日本における日本高齢者（以下、日本高齢者）との比較検討をふまえて、在日コリアン高齢者（以下、在日高齢者）が在宅介護に求めるニーズの特徴とその影響因子を明らかにすることを目的とする。

調査対象として、在日高齢者については関東地域にある在日高齢者のための老人クラブ会員等を合わせて 100 名、在韓高齢者についてはソウル市 A 区の社会福祉館の老人クラブ会員 150 名、日本高齢者については東京都 B 市の老人クラブ会員 200 名であった。調査期間は 2008 年 4 月 6 日から 12 月 20 日まで、在日と在韓高齢者は訪問面接によるアンケート調査を、日本高齢者は郵送法によるアンケート調査を実施した。

調査の分析は、在日高齢者が在宅介護に求めるニーズとして取り上げた「文化配慮介護ニーズ」「自立支援介護ニーズ」「家族介護ニーズ」「居住介護ニーズ」の具体的な 4 領域について検討を試みた。

分析内容をまとめてみると、在日高齢者はコリアの生活様式に日本の生活文化を取り入れており、その中でコリアンの食・歌・対人関係に対する要望が多く取り上げられた。特に教育歴が高い人ほど文化ニーズが高い傾向がある。また、自分でできることは自分でやりながら、介護サービスを利用し、在宅で暮らしたいという希望が強い。しかしながら、介護保険制度に対する理解に多くの課題を抱えていることが浮き彫りになった。